

平成29年度大学院地球社会統合科学府

修士課程（夏季）入学試験

入学試験問題

⑦ 社会学

注意事項

1. 問題は「はじめ」の合図があるまで開けないこと。
2. 試験開始後、解答用紙に受験番号等を明記すること。
3. 解答用紙は、必ず全部提出すること。
4. 問題冊子は持ち帰ってよい。
5. 指定の解答用紙を用いること。

【問題 1】下記の a)～e)から 1 つを選択し、選んだ記号を示した上で解答しなさい。(配点 100 点)

a) マス・コミュニケーション効果研究の変遷を概観し、ネット社会においてどのような議論設定の変更が必要か検討しなさい。

b) 移民のプロセスにおいて、社会ネットワークが果たす役割にはプラスの側面とマイナスの側面があるといわれる。一つ以上の既存研究を参照して、それぞれの側面を具体的に論じなさい。

c) カルチュラル・スタディーズにおける「文化」の概念について、複数の論者の議論を紹介し、現代日本の文化状況を分析する場合の有効性について検討しなさい。

d) エスノセントリズムについて説明し、現代社会においてエスノセントリズムがもたらしめている問題について社会科学の概念を用いて具体例をあげて論じなさい。

e) フェミニズム研究において精神分析は、批判の対象であると同時に、性的な主体形成を批判的に論じる際の理論的支柱となってきた。フェミニズムにとって精神分析はどのような位置を占めるのか、具体的な論者を数名挙げながら、あなたの考えを述べなさい。

【問題 2】下記の語句群から 5 つ選んで説明しなさい。選んだ語句をそれぞれ示した上で解答すること。(配点各 20 点、計 100 点)

仮眠効果	統計的独立とクロス分類表の関連
ヘゲモニー	公共圏
感情労働	ジニ係数
公共財とフリーライダー	『自殺論』
メランコリーの同一化	相対的貧困